

CASBEE-建築(新築)2016年版
宇治大久保・城島マンション新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質							0.40		-	2.4
Q1 室内環境						-	0.15	3.0	1.00	3.0
1 音環境						-	-	3.0	0.50	
1.1 室内騒音レベル						-	-	3.0	0.50	
1.2 遮音						-	-	3.0	0.30	
1 開口部遮音性能						-	-	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能						3.0	-	3.0	0.20	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音						3.0	0.35	3.0	1.00	3.0
2 温熱環境						3.0	1.00	3.0	0.50	
2.1 室温制御						-	-	3.0	0.63	
1 室温						3.0	1.00	3.0	0.38	
2 外皮性能						-	-	-	-	
3 ゾーン別制御性						-	-	3.0	0.20	
2.2 湿度制御						-	-	3.0	0.30	
2.3 空調方式						3.0	0.25	3.3	1.00	3.2
3 光・視環境						-	-	4.0	0.30	
3.1 昼光利用		開口部を十分に確保する計画としています。				-	-	5.0	0.50	
1 昼光率						-	-	3.0	0.30	
2 方位別開口						-	-	3.0	0.20	
3 昼光利用設備						-	-	3.0	0.30	
3.2 グレア対策						-	-	3.0	1.00	
1 昼光制御						3.0	0.38	3.0	0.15	
3.3 照度						3.0	0.63	3.0	0.25	
3.4 照明制御						-	0.25	3.0	1.00	3.0
4 空気質環境						-	-	3.0	0.63	
4.1 発生源対策						-	-	3.0	1.00	
1 化学汚染物質						-	-	3.0	0.38	
4.2 換気						-	-	3.0	0.33	
1 換気量						-	-	3.0	0.33	
2 自然換気性能						-	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						-	-	-	-	
4.3 運用管理						-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視						-	-	-	-	
2 喫煙の制御						-	-	-	-	
Q2 サービス性能						1.5	0.40	2.6	1.00	2.5
1 機能性						-	-	3.0	0.60	
1.1 機能性・使いやすさ						-	-	3.0	1.00	
1 広さ・収納性						-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応						-	-	3.0	-	
3 バリアフリー計画						1.0	0.50	2.0	0.40	
1.2 心理性・快適性						-	-	3.0	0.50	
1 広さ感・景観						1.0	1.00	1.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						2.0	0.50	-	-	
3 内装計画						2.0	0.50	-	-	
1.3 維持管理						2.0	0.50	-	-	
1 維持管理に配慮した設計						2.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保						2.7	0.30	-	-	2.7
2 耐用性・信頼性						3.0	0.50	-	-	
2.1 耐震・免震・制震・制振						-	-	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	1.00	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.30	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						3.0	0.10	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						1.8	0.20	-	-	
2.4 信頼性						3.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						1.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						1.0	0.20	-	-	
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						1.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備						1.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性		3.0	0.30	2.5	1.00	2.5
3.1 空間のゆとり						
1 階高のゆとり		3.0	-	2.0	0.50	
2 空間の形状・自由さ		3.0	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		3.0	1.00			
1 空調配管の更新性		3.0	0.20			
2 給排水管の更新性		3.0	0.20			
3 電気配線の更新性		3.0	0.10			
4 通信配線の更新性		3.0	0.10			
5 設備機器の更新性		3.0	0.20			
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	1.5
1 生物環境の保全と創出		1.0	0.30			1.0
2 まちなみ・景観への配慮		2.0	0.40			2.0
3 地域性・アメニティへの配慮		1.5	0.30			1.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		1.0	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.0
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制		3.0	0.20			3.0
2 自然エネルギー利用		3.0	0.10			3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.89	0.50			4.2
4 効率的運用		3.0	0.20			3.0
集合住宅以外の評価						
4.1 モニタリング		3.0	-			
4.2 運用管理体制		3.0	-			
集合住宅の評価						
4.1 モニタリング		3.0	0.50			
4.2 運用管理体制		3.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護		2.2	0.20			2.2
1.1 節水		1.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60			
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70			
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30			
2 非再生性資源の使用量削減		2.9	0.60			2.9
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10			
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20			
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20			
2.5 持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20			
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20			3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30			
3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70			
1 消火剤		-	-			
2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50			
3 冷媒		3.0	0.50			
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	2.6
1 地球温暖化への配慮		3.0	0.33			3.0
2 地域環境への配慮		1.8	0.33			1.8
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善		1.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.5	0.25			
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25			
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25			
3 交通負荷抑制		3.0	0.25			
4 廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25			
3 周辺環境への配慮		3.0	0.33			3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40			
1 騒音		3.0	1.00			
2 振動		-	-			
3 悪臭		-	-			
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40			
1 風害の抑制		3.0	0.70			
2 砂塵の抑制		3.0	-			
3 日照阻害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制		3.0	0.20			
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70			
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			